

こ挨拶



新潟県立村上高等学校 同窓会会長 圓g る 山^ゃま (25回生) 文 於 養 影

思いです。浅学非才の身ではありますが、 同窓会の会長を拝命し、身の引き締まる 同窓会長として鋭意努力して参りますの していただいた圓山文堯です。 令和5年10月21日の総会で会長に選出 ご指導ご支援賜りますようお願い申 伝統ある 多くの会員、

3年生の文化祭の後に椅子を現校舎に運 造校舎とプレハブ校舎で過ごしました。 業いたしました。入学した年の5月に村 あれから半世紀が過ぎております。 館で卒業式をした初めての卒業生です。 上高校の大火災があり、火災を免れた木 んだことを思い出します。現校舎の体育 早さに驚くばかりです。 私は、第25回生で、昭和48年3月に卒 月日

式

令和6年度 入学式

学んだという縁に結ばれた仲間でありま 舎で過ごした卒業生では、 に違いはありますが、村上高等学校で 火災前の校舎で過ごした卒業生と現校 思い浮かぶ光

> 編集・発行 新潟県村上市田端町7番12号 高 等 学 新潟県立村上高等学校同窓会 TEL080-7848-3494 メールアドレス murakou-dousoukai@outlook.jp 印 刷 村上印刷株式会 ます。 目としての役割を果たして参ります。 今年の総会は10月26日出に開催いたし

後輩、

同

第 74

進めて参ります。広報活動による情報発 て会員相互の親睦を図る」ことを大切に 具体的には会則に述べられているよう 「会員と母校との連絡を密にし、併せ 「絆」を深めていく同窓会であ 期と語り合う機会です。多数のご出席を 心からお待ちしております。 スクール 年に一度の総会は先輩、

ポリシーについて

りたいと考えます。



思いで校務運営にあたっております。 着任し、爾来、 令和六年度がスタートしました。 月八日に、新たに九六名の新入生を迎え、 あるたたずまいの中で、身の引き締まる を大切に育む環境のもと、伝統校の品格 援を賜り感謝申し上げます。本年四月に ら本校の教育活動に対し、 同窓の皆様におかれましては、 自然に恵まれ歴史と文化 御理解と御支 日頃 四

等学校等の役割や理念について、 また、令和三年の中央教育審議会提言 も継続してもらいたいと願っています。 を進めていたスクール・ミッション及び ます。培ってきた「深い学び」を卒業後 指してきた生徒たちが卒業する年となり 公表されました。 スクール・ポリシーが昨年度末に確定し 令和の日本型学校教育」に基づき策定 新学習指導要領施行三年目の今年度 「主体的・対話的で深い学び」を目 この取組は、 各県立高 中学生、

御支援、

御協力をお願いいたします。

祝



新潟県立村上高等学校 学校長 萱森

ものに勇気をもって向き合い、 として再定義し、それを受けて各校で教 すべき学校像等をスクール・ミッション を目的とし、 地域住民等に分かりやすく提示すること ホームページにて公表しているとお 直したものです。本校においては既に 育方針をスクール・ポリシーと称して見 「堅忍不抜の精神」を受け継ぎ、「未知の 各学校の社会的役割、 謙虚に、 現校舎正面

はじめ、 ポリシーの実践に努め、地域の中学生を として羽ばたくことを願ってスクール こと等としています。今後は、 いただきたいと思っています。 が将来、地域社会や世界で活躍する人物 かつ、意欲的に学ぶ生徒の育成」を行う 多くの人に本校の魅力を知って 生徒たち 引き続























井上健一に委ね準備を進めて来ました。







(32回生) 正弥 |同窓会開催」~「再会」に感謝

いただいたすべての方々に心から感謝を 年ぶりに開催できた喜びと、

結成し、構成・演出は総合司会を務める 出席かなわずとの出欠返信も。) のも現実。(子育て終わるも今は介護で、 に参加者も10名程少なくなって来ている 30年で5回を数えましたが回を重ねる毎 超えました。以後5年ごとに開催し平成 学年同窓会を開催、 紹介させていただきます。 地元在住の有志で同窓会実行委員会を 卒業して、18年目の平成18年に最初 先ずは当番幹事3回生を 参加者は110名を

のお楽しみ抽選会と続き、 アトラクションはクイズ、ゲームと恒例 は微かなどよめきと笑顔で溢れました。 隊26名(還曆後の男女)」でした。会場 現れたのは、エプロン姿の「おもてなし そして「我々も楽しもう」でした。 宴もたけなわ、 同窓会テーマは「お・も・て・な・し」 小田副会長の乾杯の発声直後、 和やかに懇親会も進みました。 同期でプロのミュージ 賑やかな中に 会場に

慰労会を兼ねて第6回学年同窓 テーマは「皆・健康」とした。 60名が参加。次は65歳での再

が頑張れ」とエールをくれた同期達にも ました。現地スタッフは勿論「行けない

心から感謝を申し上げたい。(拝)

シャン大滝秀則のギター演奏で「校歌」・

「心の旅」の大合唱で同窓会の幕が降り

ŧ

会を誓い、 会を開催、

令和6年度

なつかしい顔の再会に旧交を温めましょう

月26日(土) В

11:00~

役員会 $11:20 \sim$

私に

は、

頼

りになる まし

同

級

1)

話

に

な 1

り

た。

か 生が

瀬波温泉

露天風呂 大総弦

TEL 0254-53-2131

♦開 総 会 会

> 令和5年度事業・会計報告 令和6年度事業・会計審議

> > 事と

くう、

7

1)

な

1

0)

初

0) 同

参

加

こんでし

た。

度

ŧ

0)

ため

同

窓会に

参加

懇親会

会

8,000円

たくさん らもまだ 干 を ŧ げ ず 除くと、 -名ほ 時 てく 0) 0 準 間 で まだ増 どが ·備 0) れ () を始 同 流 ま 7 す。 級 れ 1 幹 版生とは ぼ لح える ま 事 初対 は す。 名 月 あ 見 現 面状 込みで Z から少 いえ り 乗 在 りを は約 れ

私たち その き に通り 年度だという話を聞いてい た私にとっ 窓会とは 私自身 衝 1窓会の当番幹事を務めます。 から や まま何事もなかったよう 撃 Ď 33回生が令和六年度の 次はあなた方だよ。 過 32 ぎて た。 無縁の は、 口 言。 生の て、 いくの 還暦の. 昨年 ということで、 同じ 生活をし 大きな転機と 度は体調不 年が幹事 職場の先 かと思



33回生 来 7 催 健 7 同 さ V 多くの す。 L 間 ぶ 1) 0) は あ を過 れ 終 ŋ 面 で 令 え で、 和 々 える日 夜 昼 で は 過 年 す

た同

窓会

は 几

卒業以

年

度

年

ぶ

り

に

開

7 います。 皆様のご参加をお 々 っことが あ 長 程 ぎ 度 皆 五. る い か は です。 なっ 会場 で楽しい会を 々、 1) 5 は 始 で 新 楽 7 8 0) きま Ĺ 懐 夕 都 L 1) 方に い か ま 待 11 合 時 顔

校内幹 理 監 務 局長 事 事

常任 副会 顧 会長長 理 間

小小赤高渡本吉山石伊本高增大松高佐山長高渡寺佐渡山佐大井野佐澤小伴五渡松萱瀬佐五村圓 杉田坂橋邉保田﨑栗藤間橋井滝田原野田郷橋辺門藤邉田藤場上澤藤渡林田嵐辺本森賀藤嵐山山 千健裕史智伴 代 美 恵 美一子子美子 和和浩磨 正昌 秀保弘初 洋む克裕直睦公 恵滋美茂弘正 和 也行一治武善生理明史信雄清昇平み弘美文美雄子博昌春 之美 子宏子 子 子樹行弥誠子堯 懐かしさと新鮮さと

仙田

り 新 をつくることができて 鮮 な気持ちで 新 L 1) つ な 1 ま が

役

員 名

簿

(http://www.murakamintou/index/htm)



関東支部

初雄(24回生)

も一新致しました。寄稿頂いた方々にこの場 例な形で四年振りに開催させて頂きました の感染症の影響により、懇親会なしと云う異 年の「同窓の集い」(総会)は、新型コロナ をお借りし感謝申し上げたいと思います。昨 気軽にお申し出頂けたら幸甚です。 考えております。ご提案等ございましたらお る内容の濃い企画を如何にお届けする事と、 に開催させて頂きました。(六月十五日開催) 名余りの多数のご出席を頂き、懇親会も盛大 三五号を発行するにあたり、構成や記事内容 的な活動を行いました。更に会報誌『村高 贈し市から感謝状を頂くなど、各方面で積極 界隈歴史散策の会の開催、村上市中央図書館 メンタリーインタビュー上映会の開催、目黒 ますと、「戦争と平和 宝田明の証言」 ドキュ 、の会報誌『村高』の初版から最新号迄を寄 支部活動の喫緊の課題は多くの会員の方々 この一年の関東支部の活動を振り返ってみ 同窓の皆様、 同窓会活動に参加して頂けるよう魅力あ 昨年、お約束しました通り、総勢一〇〇 如何お過ごしでしょうか。

き続きご理解とご協力を とさせて頂きました。引 の方々にお願い致します。 お誘いのお声がけを同窓 活動に積極的に参加して 以上近況及び活動報告 を深めて頂くよう、 「同窓の扉」を開き

支部 HP をご覧ください。 お願い致します。支部活 の詳細につきましては、

会員の皆様方におかれましては、 同窓会



清

(17回生)

員の自由発言や抽選会などで楽しく過ご を傾聴させて頂きました。懇談会では会 や市政の取り組み状況など興味深いお話 村高OB)をお迎えし、村高の活動状況 こ梅田本店で無事総会を開催できまし コロナの話題もなく、 月に4年振りに開催できました。今年は 感染症に移行された為関西支部総会は5 年5月に新型コロナウイルスが5 (出席者17名) 同窓会本部から圓山 村上市から大滝副市長(お二人は 5月25日出にがん

ます。 会のデザイン 月13日の間「い 4月13日から10 年も楽しい同窓 なりました。来 を斉唱し閉会と 様是非関西に をテーマに関西 のち輝く未来社 会の開催を役員 **力博が開催され** 同願っており 同窓の皆 又来年は



口





ました。令和6年度の総会は11月2日出 アートホテル新潟駅前で開催され、 レー形式で行うという新たな試みを考え 様々な分野で活躍する同窓生の講演をリ 安冨成良関東支部顧問が出席され、 方から平山剛校長、 22名が参加、 に同じ会場で開催の予定です。今回以降、 任として、 生から34回生まで幅広い年齢層の同窓生 への熱いメッセージを頂きました。 長年務められた飯沼和男支部長の後 年ぶりの支部総会が、 山﨑理が支部長を仰せつかり 懇親を深め合いました。 圓山文堯同窓会長、 昨年11月18 支部 11 ま 遠 口



きます。 液状化」に 半島地震と ており、 ご覧くださ 支部HPを 題を提供頂 関するタイ から「能登 亨事務局長 しくは新潟 ムリーな話 は 堀 田 初



間の支部活動は、 となり、日本の伝統文化や人との絆もお かしくなったように思います。 案内しか活動出来ませんでした。 止となり、この間は「中止のお知らせ 今思えば、日本中いや世界中で大混乱 令和元年途中から六年の今までの五年 コロナ禍のため活動中

締め切りに間に合いませんので、 五年前の総会のものです。 した。(総会の様子は「同窓の訪れ」の 幹事会を開き、 なるなど支部活動再開の時宜到来となり に総会と懇親会を開催することになりま こうした中ですが新型コロナも五 遅ればせながら六月八日 写真は

会を盛り上げる準備を進めていますので、 変な努力が必要となります。役員・幹事一 五年のブランクを取り戻すためには、 同 大

懇親会に 部の総会・ ください。 参加して



新発田支部



いいたします。 よろしくお願 思いますので、 なって来ると

の運営の再検 は今後の支部

必要に

催した折に

してください。 会にぜひ出席

今度総会を



伊藤 保史 (26回生)

になって初めて、五年振りに開催しまし

川支部では令和五年度の総会を令和

してくれたのに感謝です。 りました。しかしそこまで会を楽しみに だったみたいですが直前キャンセルとな 氏は直前の会議で酔いすぎ本人も残念 小杉事務局長に御臨席をいただきまし 総会・懇親会には本部から圓山会長 参加予定者は十名でしたが、近良平

ました。懇親会では圓山会長が私の兄と いろな出会いがあるなと改めて思いまし 絡がありました、このような会ではいろ 同級生であると分かり、その夜兄から連 の状況・本部・各支部の状況が紹介され が行われ承認されました。来賓から高校 会では四年度分の事業報告・会計報告





本間 弘信 (25回生)

話に花を咲かせました。 席で、本部から小杉事務局長をお迎えし び懇親会を、 お願いしたいものです。 環境の中で、母校の存在感を示す活躍を 流れとは言え、後輩にはそうした厳しい なってしまうということでした。時代の やはり今年の四月から新入生が三学級に りに開催しました。当日は会員七名の出 昨年の十二月三日、 母校や故郷の話題を肴に久しぶりに 仙台駅前の波奈にて四年ぶ 仙台支部の総会及 話題の一つは、

しているところです。 見通せない中で益々)利便性向上に期待 でも着工となり(水害で米坂線の復旧が 体ですが、小国道路が昨年秋に山形県側 行くには、小国経由のマイカー利用が主 話は変わって、我々が仙台から村上に





群馬支部 石栗 秀明 (33回生)

のものです。 ロナ前2019年6月に開催された総会 況で、来年度に再起動します。 群馬支部はコロナより活動休止中であ 総会含め特別な行事も行ってない状 写真はコ

生は定期的ではありませんが同窓会を開 気に爆発したような盛り上がりに「ハー 席し、アトラクションなど盛大に行われ、 生です。去年当番幹事3回生の総会に出 れたらと思っています。 て当時の村高仲間と濃密にプランを練ら す。当番幹事は生涯一度ですので、集まっ 君の幹事のもと、7月14日に開催予定で ドルが上がったな」と感じました。33回 コロナでできない年が続いたためか、 いており、去年に続き、今年は八幡隆 本部の同窓会の当番幹事は33



部連 支 絡

関東支部長 初雄

TEL 090-3037-0959

関西支部長 清

TEL 0721-25-8448

●新潟支部長 理 山﨑

TEL 090-2987-9208

新発田支部長 大滝 昇

TEL 0254-22-2833

関川支部長 伊藤 保史

TEL 0254-64-1010

支部長

TEL 022-277-7654

群馬支部長 石栗 秀明

TEL 027-327-7104

寄

稿

ドラマ演出家 鶴橋康夫氏との別れ

丹田 公之助(10回生)

人の世は常とは言いながら仲良き友との

別れは限りなく辛く限りなく淋しいもの

まれる光景を今でもはっきりと記憶して 桜の花咲く窓からお城山の重厚な姿が望 前の村上高校一年の教室であった。 鶴橋との出会いは今を去ること六十数年 鶴橋康夫氏との永遠の別れであった。

室の中心人物になった。 新聞部に所属し、放課後は部室の窓際に 跨がり夕暮れを友としていた姿を今でも 彼は頗る明晰且つ雄弁であり、 すぐに教

彼とはよくお城山に登って青春を論じ、 明確に記憶している。 でも舌の奥に残っている。 さざえを採取し浜辺で焼き食した味を今 又土曜の午後は瀬波で泳ぎ、笹川流れで

がったバルンの管理を二人でよくやった アドバルン上げの仕事に携わり、空に上 イト生活を送ったことだ。 東京での学生生活は共に学び共にアルバ

ものである。

格好をしながらデパートや映画館の屋上 出として残っている。 で動き回ったことを青春の一コマの想い と云う映画だったと思うが、よく真似た そのころ石原裕次郎主演で確か「風船



存じの通りで有りここに書くまでもない その後の彼のテレビ等での活躍は皆様ご ことであろう。

鶴橋!!

どうか安らかに眠ってくれ……。 そちらの世界に行った時は静かに落ちつ いた所で一杯酌み交わしたいものだ。

してくださりました。 た10回生の鶴橋康夫氏が2023年10月にドラマ演出家、映画監督として活躍され お亡くなりになりました。 哀悼の意を表して同級生の丹田氏が寄稿

【主な作品】

映画 「愛の流刑地」「のみとり侍」など テレビドラマ 「砦なき者」「白い巨塔

【主な受章歴】

2013年 2007年 2005年 紫綬褒章 芸術選奨文部科学大臣賞 旭日小綬章

村 上 高 校 の 現 況



富 星生

理解と御協力を賜り感謝申し上げます。 しては、 村上高等学校同窓会の皆様におかれま 日頃より、 一二五名の生徒が卒業 本校の教育活動に御



とになります。 年度がスタートしています。少子化の影 それぞれの進路へと出発しました。また、 ることから、生徒数は約八割減少したこ 史』には、昭和四○年度は全校で三四学 名となっています。『村上高等学校百年 数は十、生徒数は四月一日現在で三三〇 の募集であったこともあり、全校の学級 響により、令和六年度入学生は一学級減 四月には九六名の新入生を迎え、令和六 し、同窓会に加えていただくとともに、 生徒数は一七三九名と記載されてい

気を伝えるものと考えております。 部活動に加入していることも、村高の活 しましたが、全校の実に約八割の生徒が 績」では、ソフトテニス部の活躍を掲載 水準となっています。続く「主な大会成 合格者数は二三名と、過去五年で最高の ます。別稿「大学等合格状況」にも掲載 自の進路実現に向け日々勉学に励んでい 校行事や部活動を一層楽しみながら、 感染症の五類への移行に伴い、生徒は学 活を送っています。 新型コロナウイルス 体的に対応しながら、たくましく高校生 忍不抜」の精神を胸に、社会の変化に主 しましたが、令和五年度卒業生の国公立 しかし、村上高校の生徒は、今も「堅

援を賜りますようお願い申し上げます。 しても、今後とも変わらぬ御理解と御支 村高生それぞれが思い描く幸せの実現 教職員一同、日々、全力で支援 同窓会の皆様におかれま

女子個人

(北信越大会出場

東

美波

四 位

) 弓道部

小湊

桜子

森

心温

組

大 学 等 合

格

状

況

)少林寺拳法

女子単独演武三位

(北信越大会出場)

横井

国公立大学23名

新潟県立看護大学(各1) 新潟大学(7)、新潟県立大学(6)、 大学、釧路公立大学、高崎経済大学、 山形大学、福島大学、信州大学、富山 秋田大学(2)、北海道教育大学釧路校、

弓

道

部

仲間との思い出を胸に

私立大学166名

新潟薬科大学 (5)、新潟青陵大学 (2) 専修大学(2)、新潟医療福祉大学(23)、 日本大学(6)、 青山学院大学(2)、 東洋大学 明治大学 $\frac{1}{4}$ 2

> と思う反面、 でした。

インターハイ出場が叶わな

琢磨した仲間と共に、

牧口先生、そして日々切

最後の県総体は、

顧問

三学年

伊東

短期大学6名

きた自分を信じ、

二年間、

辛い時も諦めずに修練に励んで

の思い出を胸に、

高校最後の大会に臨み 支え合ってきた仲間と かった悔しさも残るものとなりました。

新潟青陵大学短期大学部 女子短期大学 (各1)、 山形県立米沢女子短期大学、 3 岐阜市立 他

専門学校24名▲

1 他

公務員(2)

長岡赤十字看護専門

就職3名▲

ソフトテニス部

感謝の気持ちを忘れず向かっていく

一度目の県総体は、

二学年

森

心温 相手よ

戦していきます。 気で泥臭く、一点一点たくさん喜んで挑 となく、向かっていきます。自分と戦う う結果に、親や指導してくださった方々 ようなことはせず、 私たちのやるべきことを去年と変えるこ に感謝しています。インターハイでは、 でした。そのなかで勝ち取った一位とい りも自分と戦うような試合 自分たちらしく、

学校行事

令和6年度新潟県高等学校総合体育大会

○ソフトテニス部

女子個人優勝

(全国高校総体、

北信越大会出場

北信越大会進出が出来て嬉しい 駆け抜けた三日間 磋

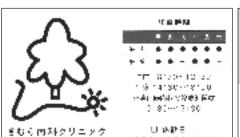
文化祭

体育祭



球技大会

TEL. 0254-53-2131代



〒958-0857 新潟県村上市飯野 3-16-5



〒958-0003 村上市吉浦 3060-8

診療時間	月	火	水	木	金	土	В
午前 8:30~12:00	0	0	0	0	0	0	×
午後 1:30~ 6:00	0	0	0	×	0	×	×

休診日 日曜·祝日·木曜午後·土曜午後

TEL 58-2220 FAX 58-2225

「広報誌広告掲載・HP バナー」について募集します。詳しくは事務局へお問い合わせ下さい。 総務部

令和5年度 会費納入者名簿

会費納入者のお名前を掲載いたしました。 本会運営へのご理解ご協力に対する御礼に代えさせて頂きます。 ※令和5年7月1日から 令和6年6月10日着金 分まで掲載。

 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2</t 全3 全3 47 47 46 46 46 46 45 45 43 35 南津高菅佐佐佐小木小江飯横丸樋中阿新遠鈴佐坂斎齋小松高清島澤佐小倉大浅横松小小小伊佐澁 藤藤藤松村田端沼山山口山部野山木野部藤藤林村橋水村田藤出崎場野山田林田池東間谷 幸昌定昌格徳清清充悌奎市一 睦光光悌可良公広建昌綽昭八勝久正歳敏 康庄英一祐セ和朋 勝文 二衛夫郎郎キ彦子寿四夫孝和男郎郎彦夫郎一廣孝三二宏雄夫男志昭次司一治平夫夫郎衛弥夫雄雄
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2</t 全6 全6 全6 全 全 全 6 6 6 全 6 全 全 全 6 6 6 浅山山水野中長永徳棚鈴佐坂齋久木金笠板本船樋野中外菅佐斎小小倉加大内岩泉飯渡渡湯宗本本 野脇崎野口山浜田橋橋木藤上藤保村子原垣間山口中山門原藤藤松薬松藤平山澤原田辺辺浅村間間 一保美順 郁 徳 雄 千 誠和豊義 藤國 甚マ賢重時紀純洋 栄 悦 正富 慶 承 喜晴美貞郎ツ司誠男美一子義實弘男子 子研子弘次学明功二衛成人浩司稔子忠子子豊也晋子 全8 全 全 全 8 8 8 全 全 8 全 全 8 全 全 8 全8 全8 全8 全 全 全 8 8 8 富長田関里佐佐工上石安涌山八諸丸前本本藤花野中中滝鈴菅佐佐佐熊木木川片小小大内伊石五飯 中根村藤藤藤山川斎井崎後橋山田間間野井口山野沢木井藤藤藤田瀬藤崎岡野田滝山藤田嵐田 秀剛六美 忠 秀玲サ智 菊武富詢長タ彊泰 コ修健弥一茂 雪阳泰采金孝 克
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 市渡吉山山山山村松本古樋浜長野西長丹田田田白佐佐佐坂後唐亀大内伊五安吉八三丸本平初中中 島邉田田田田口山本間川口田川邊山島田中中沢川藤藤藤井藤津井滝山藤嵐藤村後浦山間井瀬山東 ア多康貞 公建 寿 正重建 新 恭泰在幸鐵ジト直 祥 康 典 敏 健 春 優 栄 誠 子利子子敬子夫ウミ成操興子夫子子昭助子雄ヤ子子栄清美良春興一熙郎武子子祐治勲英雄剛雄稔 佐小熊大大薄伊井伊伊青渡山山水町本星藤中高相瀬菅菅下佐佐佐佐佐佐桜斎斎近小吉菊川加加大大 术 山 倉 島 倉 田 部 上 藤 藤 海 辺 崎 口 倉 田 間 野 田 村 橋 馬 賀 原 田 野 藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 薬 川 池 名 藤 藤 矢 平 哲き英 美 義正久敏正圭敏輝健キ 周 千 明 信義儀道 正 勝 イ 恭 征 久 玲 邦 革 紘 子子 勲 三 博 彦 子 徹 勝 治 字 麟 子 子 一 信 朗 子 彦 隆 清 嗣 義 昭 子 子 吾 子 道 治 子 洋 靖 子 子 晃 作 恵 雄 隆 子 男 一 鈴 須 陣 佐 佐 佐 佐 斎 斎 児 倉 木 河 加 加 勝 風 小 岡 岡 伊 五 飯 飯 渡 吉 横 森 丸 本 船 藤 平 服 長 坪 田 鈴 清 佐 佐 佐 佐 木貝谷藤藤藤藤藤峰峰松村内藤藤見間町本本藤嵐沼島辺村山川山間山崎山部川山中木水藤藤藤藤 フ信信 美智 幸祐良光克力与 智 裕 寛一テ純紀義一邦幹悦 慶 政 信 喜慶郁み英正紘 之子造子徹司夫ル一子男美彦司郎進江三枝子夫ヨ太強子志昇夫隆子之子進学 彦子る昭次一 長丹高高佐佐斎斎黒国菊片笠貝小落小大上伊伊伊渡渡渡鷲山山森三宮松前藤平西中中中田谷高 田橋橋藤藤藤岩井地野舛沼野合田庭野藤藤藤辺辺辺辺田脇田山浦尾永田川田山山村田村口橋 紘秋秀義綾ム好信曻貞フ 源邦正広輝貫 和シ重比直健洋忠 忠ヒ昇正 昭兵敏辰久勝健 栄 次 治 重 也 利 一 攻 子 男 雄 房 子 子 昭 子 八 子 ミ 敏 一 彦 守 子 男 造 繁 子 子 行 夫 樹 夫 二 男 実 雄 子 一 子 強 ラ 翼 松松本林中中中藤寺田田田田竹高鈴斎木吉上小小上岩井伊板互浅秋青米村村益益本細藤野中富土 島静倉間井村村中中内柴木藤村川村田田原谷上藤垣嵐野山山野山山田田間野田口島山肥 靖 直信淑邦俊正賢昌 匕敏喜正益文麗サ孝洋勝恵美淳満卜 良澄光紀孝コ英昭美 俊英 直帐正大雄子子文明二志隆口溥雄義雄郎子子子雄介子子子子忠三子夫男夫卜夫夫子勲彦征眞久子

五 阿 東 青 和 渡 山 森 本 本 平 二 奈 中 忠 鈴 菅 城 佐 斉 木 川 川 河 蟹 加 貝 大 大 大 井 伊 石 阿 渡 渡 吉 森 森 武 明 宮 松 塚田辺口井間間山宮橋村 木井 藤藤村村上内井藤沼野滝石上部川部辺辺本田田藤前川山 弘恵三優洋美新弘敏準保照茂順杏 章雅守美文忠 宮テ登 久 徳 淑 美雅裕富牛克寿正勝 子子。分子美和平司夫二男子樹治子愈人代弘子子久裕子子代敏雄昇稔実子子絢子隆子夫卜子一康彦 增本本本別伴長富遠当田田竹相相鈴菅菅佐佐佐佐斎小栗倉久日木菊川金小小小大大植今井石石五五 并間間間府田川樫山摩所嶋内馬馬木原原藤藤藤木藤池山崎美下村谷島谷田田田島澤村谷川田川嵐 隆松千里友 马 芳和 和 庄 弘 襄 工 雅 茂 浩 昌 節 幸 成 憲 信 近近小児小久川川金織小小大大大大大内牛今稲伊板石五飯飯阿阿渡山山山山森森村村宮美南三松 藤堀玉嶋世村上田田田田場滝島島島山尾井葉東垣栗嵐島嶋部部辺本本田上屋田山田 飯阿阿秋渡横横山山山間松益本本兵福平浜野成長中徳津田只田竹竹高高高高瀬鈴小佐佐坂斉斉斉 沼部部山邊山山田崎口部永田間間動元山中村田山山留野辺木澤内内橋橋橋 賀木路藤藤井藤藤藤 和好愛芳ま典貞ミ明正周良茂陽テま公寿吉景 悌恵幸 ヨ孝 敏 栄 美敏繁俊恵い せ賢み良幸朝 津 子 子 夫 次 次 子 勇 つ 次 つ 一 一 男 早服長長野丹名中長鳥遠種高鈴鈴菅須菅菅白佐佐佐佐児木川金加小小小奥小小岡大遠岩井井磯五 川部部川沢羽取村坂屋山部橋木木原貝井井旗藤藤藤玉村村子藤野田田村川川田塚藤本上上部嵐 道正久富三 拓幸繁 初小よ良美正栄真 茂陽治泰む登良 一実 千 吉 厚

 幹 正 逸 裕 克 啓 治
 清
 高 喜 政 悦 廣 喜 英 米 敏 晃 美
 香 恵 倫 洋 美 史
 さ 澄 紀 梅 俊 幹 治 成 孝 孝 み 太 ち 代 美

 子 己 雄 子 博 子 夫 卓 英 晶 廣 子 彦 子 文 子 子 雄 郎 道 子 周 子 子 子 子 子 子 久 融 と 子 子 子 明 男 郎 良 雄 郎 子

 さ澄紀梅俊幹治成孝孝み千喜 本本平平肥羽長橋沼西新成奈奈長中中中登富富寺高高高高相鈴鈴菅菅東志佐佐佐佐祥斎斎小倉楠 間間山山本深川本 川沼田橋橋柄山山島坂樫樫井橋橋橋崎馬木木原原林田藤藤藤雲藤藤林崎田 ム 久 賢 慶 康 陽 忠 ヒ 四 み壬芳 澄久大修由康 陽方文秀範満里正勝 廣正豊枝子三一子雄正子子子江栄子茂子子子茂修子雄一一雄二男子孝郎裕三直英明雄男子実郎正
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 鈴 菅 清 佐 佐 佐 佐 齋 小 小 木 川 川 上 鎌 片 恩 小 小 小 尾 内 伊 伊 市 池 飯 荒 阿 渡 渡 吉 横 山 山 山 山 村 村 松 益 野 木原水藤藤藤藤島島磯村上内村田 节 田 田 田 茁 崎 山 部 藤 井 田 島 木 部 部 辺 川 山 田 田 目 貝 貝 山 山 井 田 直明つ英栄三幸 た知午 み 繁 厚 眞 義 雅 琴 邦 紀 泰 京 房 泰 真 吉 正 信子幸裕夫博人子子子子雄男正郎子猛子 斉 近 小 小 木 北 川 川 川 小 小 奥 大 伊 飯 阿 和 渡 渡 横 山 宮 美 本 本 細 舩 萩 野 難 中 中 飛 富 土 田 田 谷 滝 滝 瀬 鈴 林島村岡上上内野野村滝藤沼部田辺辺辺山際嶋濃間保野山原口波村島田樫屋村原口波沢下木 美悦五由美秀光金則芳一 雅芳久文重正壽ひ千純 敏 洋 治隆子和悟子已夫子衛康雄夫夫勝史久子家子一和子清学也郎舅枝子子男子子郎講治子子次李

 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 佐佐佐佐侨裔黑木河加加小小小大色板池東山山森村村美本本平中中中遠長田滝高高鈴菅澁佐櫻斉 藤藤藤藤藤藤林村内藤藤野谷川滝部垣田 崎口山山山濃間間山山野島山 島波橋野木原谷藤井藤 和信卜か和甲睦春恵和 峯太正克潤和久善と又和 直忠 直彦正た喜玉正ゆ智時恵美義 平行子え直三美夫子夫明生郎二巳子伸子春子郎子稔弘三弘也英美み雄子晴子衛雄子子栄博治子実 伊渡吉八柳百松本野七中遠田高高高高临佐佐熊工勝小上五阿阿渡山美三細広平南富長高高相鈴須 藤邉澤幡本武村間田海村山口橋橋橋橋野藤藤田藤見田田嵐部部辺田野國谷井松雲樫 尚陽美由保初重健與升富 良 賢 祐 文 正 善則宏克洋文ス美博千庄一敦登 滋 聡 子 孝 子 子 清 道 子 子 満 美 男 雄 実 志 一 治 男 肇 三 策 昭 子 雄 人 聖 幸 夫 子 明 子 子 イ 子 志 子 一 男 子 男 恒 本船林長新長中富遠忠田嶽竹田高瀬鈴鈴菅菅菅賀潭東佐佐佐坂齋斎近小工木川量小尾奥大大大内 川野柄田樫山 中岡内川橋賀木木原原原貝井林藤藤藤井藤藤藤林藤村村山田崎村滝滝油山 弘三秀和明知勢康栄 や方 保勝 み久 美 敏 与 晋 孝 修 さ 和 由 祐 和 喜 勝 昭 三 久 芳 康 市 直 信雄光子美子学之子聡か子宏雄吾功り子亮学一明一子一子明孕郎彦則吉規男子明子郎子郎子郎 塚田高相鈴鈴鈴白三佐佐佐坂斎近小河北岸川加小小小小小大大伊板石石石飯浅渡渡吉山矢三丸圓 田澤田馬木木木沢田藤藤藤野藤 林面村 村藤田田田川川堀草藤垣原司田沼野辺辺田崎部浦山山 文保 真 克 由 明 恒 康 吉 勝 忠 山 淳 紀 と 真 敦 美 捷 兼 寿 昭 晴 保 正 羊 厚 次 美 謙 哲 欽 美 ユ 常 和 み 文 也世一彦子郁子男明春則朗司治子徹清良し美子子寿人幸章則美史敏子子夫子一栄也子子男紀子堯 遠塚高高宗瀬鈴菅東三沢佐佐佐佐赤斉齋小久大大大大太梅臼稲板板板石阿山山八松本藤平長奈月 山野橋橋 賀木原林宮野藤藤藤藤藤藤藤林田宅竹滝滝田原井葉垣垣垣栗部田貝後澤保木山川橋橋 明郁百節啓弘克順 文敦与み友賀正正節信圭英 好可美章潔 美恒喜忠修ま登房 政俊明惠正伸 彦子子子子行夫子稔子子幸 b 弥代幸美子子男裕範子紀子人潔子彦勇彦一分治子豊行三夫子巳夫 水 堀 平 畑 中 中 戸 富 東 丹 田 清 佐 佐 桜 小 久 楠 北 加 奥 小 岩 今 稲 安 横 山 山 村 村 宮 水 松 松 本 本 本 細 平 羽 中 遠 部 田 田 山 島 田 樫 方 中 野 藤 藤 井 柴 田 田 畑 藤 村 川 野 泉 家 達 山 村 賀 山 田 村 松 本 本 間 間 間 野 田 田 野 山 修誠春俊一浩泰善一道富幸繁 核 弘 敏 友 久 ま 重 た 優 由 循 春 美 春 光 正 則 正 子亨一子美哉彦平子広則寬子子子智子浩子義明子子子誠子茂雄子子子治美子二雄昭行吉昭則道一 五 五 五 阿 阿 渡 山 最 村 宮 本 本 本 舩 長 成 中 富 丹 田 田 竹 高 鈴 佐 佐 斉 近 近 小 川 川 川 大 井 稲 秋 青 渡 米 横 山 山 克 一 英 裕 和久康 良恭義 る 俊 る 良 正 邦 ひ 敏 勝 寿 孝 裕 洋 広 広 和 子智孕黄美清代孕子岳徽清己雄望清之子滋覚和彦之雄子樹子平夫彦み晴子子広充司山一肇幸三孝
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 五 渡 渡 渡 保 藤 伴 長 羽 難 中 丹 竹 高 相 相 清 鈴 鈴 爺 清 島 佐 佐 佐 斎 斎 小 日 川 川 金 金 尾 大 大 大 大 内 伊 板 石 五 嵐 邉 辺 辺 田 井 田 部 沢 波 村 田 内 橋 馬 馬 野 木 木 木 水 田 藤 藤 藤 藤 藤 柳 下 村 村 子 子 形 滝 島 島 池 山 藤 垣 栗 嵐 玲 留 清 敦 洋 達 孝 千 勝 純 浩 幸 元 俊 修 清 信 康 和 謹 茂 孝 勇 美 代 洋 孝 安 邦英 誠文秋子子博宏子薫一好夫寬芳之章篤子子博子一幹生樹文巳子美孝史子子平考弘司子一肇樹男人 金加大大大井石荒嵐横横森三三前船中富遠津高高髙相鈴鈴澤佐佐佐斎近近小木川加加小小梅居石 子藤用場滝上田井 山井山宅国川山村樫山野山橋崎馬木木渡藤藤藤藤藤藤林村内藤藤幡田田城黒 菜千秀健正晶博素公良幸久隆達達智紀庄嘉寛美百正 智史直千 良正伴 想代 惠 加 久睦子美則一昭子昭子英浩男子志雄男美子郎弘子子子美修美子人子敦子昭子栄靖弥子人浩弘之子

 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 村美鞠松本本本姬長野野西難富角高瀬鈴菅菅須白澤佐佐佐佐佐佐佐佐近近近小小小小木木川狩 滕 後 山 濃 子 本 間 間 間 路 部 口 澤 濟 波 樫 田 野 橋 賀 木 原 原 貝 井 野 藤 藤 藤 藤 藤 木 林杉杉池村瀬内野 敬 浩 美 誓 浩 秀 一 千 寿 健 介 子 和 紀 明 文 敏 弘 子 光文淳衛美 渡横八柳広平樋長中中富遠寺田田高高仙鈴鈴佐佐工金加小小大内伊伊伊伊板板石赤渡渡渡山湯柳 辺井幡原田方口川原沢樫山門村中原橋田木木藤藤藤澤藤田田滝山藤藤藤垣垣栗坂辺辺邉田浅元 美由紀 勝晴隆澄昭浩あ晶富美 也喜一重美二ね弘子
 佳美英悌
 磨
 智健隆
 裕清光和
 利哲雅富典千善敏秀浩博岳孝宗
 智佳

 子子文一繁治健子一一博之美春行温宏也明夫子春晴幸明一子浩志春元子
 幸佳 秀 脇山松前丹田鈴鈴菅志澤佐佐佐佐權貝小大大渡吉山山山森森本長傳高高高佐佐佐小大伊阿渡渡渡 川田田川田村木木原村田藤藤藤正沼野滝田辺田田田崎 間 郷 原橋橋野藤藤川滝藤部辺邉辺 隆新恵鶴郁耕輝正和由 由隆洋直正む睦 弘 普 裕 多正 敏 克裕郁丈敏達春律 行 聡 平 子 薫 子 芳 徹 樹 勇 昭 吾 子 英 子 子 昭 典 則 子 武 之 子 美 理 子 男 行 文 樹 み 美 孝 弘 治 雄 之 文 朗 好 子 昌 雄 吉峰前布服中長鈴鈴斎加加海大湯山本中金金小大大稲阿青渡南福平原奈鈴斎木加大太内井井阿青井 田田田施部村濱木木藤藤藤沼滝浅田間村子子田滝田垣部木邉波永山田須木藤瀬戸滝田山桁上部木 智 綾 直 玄和孝恵 真弘郁 慎力英健敏 博 英 達 博 美 敏 信 好文俊祐寬
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 鈴 鈴 佐 斎 近 江 榎 佐 國 木 大 伊 渡 本 藤 田 竹 佐 斎 栗 茅 小 秋 羽 富 高 大 磯 渡 水 水 松 本 富 田 高 高 高 佐 佐 木 小 板 木木藤藤藤見田藤井村島藤邉間田中内藤藤山野田田野樫橋野部邉倉倉本保樫代橋橋野藤藤内野垣 民理み政実 丈 佳 陽 和 幸 美清容正洋陽賢佳正政寿真哲幸 一知孝睦勝敏な 卓 荘 博 わ だ 和 帆 代 子 明 敬 久 子 之 子 俊 文 子 賢 弘 博 成 子 子 子 剛 子 博 夫 子 り 義 子 健 衛 幸 晃 子 士 子 善 子 子 一 子 昭 勝 徳 樹 之 男
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 2
 稲市齋渡渡鈴渡山山町藤富鈴佐渡中鈴木大伊本富徳土三馬佐片小小大浮伊伊天渡涌吉平田田谷高 葉村藤邉部木辺田岸田井樫木藤辺山木村瀧藤間井泉居浦場藤野田田島須部藤木邉井田間山村川橋 久 桃 拓 賢 ひ秀文仁和友 裕 忠直雅憲祐明良志貴政 栄美聡毅敏 保陽庸保美清 差 太 ふ 孝子子也郎豪美瑛美志俊洋堅二愛義美代子史美子朗洋彦浩子代子彦章洋泉聡則子子智穂洋淳理 押渡高小渡渡增佐久增佐尾伊渡圆長高神飯矢高佐齋渡平富佐色齋中田酒平橋小久板八中菅佐小小 杉邊邊子藤保子藤形藤邊山川橋田沼部橋藤藤辺山樫藤部藤村島井山本林田垣後村原藤田田 優伸祐礼獎智美泰惠知瑛拓〈賢康丈甲孝秀紘麻嘉雄和佳秀雅 和彩志 美陽元 輝香美貴唯綾穂子樹諒之乃保卓子樹節子悟弘智規字佳子也み雄一洋太好幸子子明三男子和子隆介 定全全全全全全全全全全 6 小齋菅斎渡中池佐大近本鈴富斎板斎川板稲松平細成横髙和富石鈴川立高木佐齋押大木青山前高高 田藤原藤邉島田藤竹藤間木樫藤垣藤上垣葉浦野谷田山橋田樫栗木村花橋瀬藤藤切竹瀬木賀田橋橋

 三 秀 秀 昭 憲 良 か 竹 百 悦 律 登 一 久 久 マ 龍 芳 健 ト 信 俊 淳 ノ 伊 陽 蒼 恒 恵 は 真 遼 寿 善 隆 雄 哉 司 ー ー よ 二 子 均 子 子 次 夫 子 夫 健 キ ー 武 之 治 平 シ 博 雄 道 優 子 ブ 吹 菜 薫 人 平 子 か 美 平

 定 定 定 定 定 定 定 定 定 定 定 定 定 定 元 定 担 関 関 関 荒 荒 荒 14 14 11 11 3 18 5 定朝 新和

ご容赦ください。
ご容赦ください。

ありがとう ございました

(見込み) 令和5年度 村上高等学校同窓会決算書

(令和5年8月1日から令和6年7月31日)

収入の部

	科	. [■	決算額	内 訳
会			費	4,028,739	入会金 2,000円×125名 初年度会費 2,000円×125名 1口 2,000円 5口以上の高額納入者あり のべ1,491名 昨年度よりも82名減少
雑			入	. 61	利息等
寄		付	金	278,286	関東支部、高教組村上高校分会
前	年	度 繰	越金	7,128,789	
		計		11,435,875	

支出の部

-	科目		決算額	内訳
会	議	費	127,800	総会・理事会・部会 支部総会
事	務	費	1,607,721	
人	件	費	1,298,310	出張旅費 給与 事務補助費(臨時)
福	利厚生	費	3,322	労働保険
消	耗 品	費	41,884	プリンターインク、封筒、コピー用紙等事務用品
通	信	費	238,615	インターネット代・郵送料・電話代・ハガキ代 ホームページサーバー使用料 ホームページ更新管理料
賃	借	料	0	コピー機カウント料(奨学会館でのリース)
会費徴収事務費 25,590		25,590	「会費納入」通知料 143回 支部会費徵収還元金、新入会員手数料 等	
事	業	費	2,948,214	
広	報	部	2,844,214	「同窓の訪れ 第73号」 令和5年8月発行費用 ・印刷梱包費 19,000部 ・送料 ・新聞広告
行	事	部	104,000	総会·懇親会関係(懇親会景品·当番幹事費用)
助	成	費	170,000	
生	徒会活動	補助	0	
支	部助成	黄	170,000	支部活動助成 新潟·仙台·関川·関西·関東 各支部
積	<u>17.</u>	金	300,000	記念事業積立金
雑		費	8,233	来客用ペットボトルお茶、振込手数料 他
予	備	費	0	
合		計	5.161.968	

収支 11,435,875 一支出 5,161,968 = 6,273,907

令和4年度まで積立金	900,000
現金 普通預金	0
令和5年度積立金	300,000
合 計	1,200,000
郵 便 普 通 信 金 普 通 第四北越普通 現	1,535,277 4,571,784 102,749 64,097

詳細はホームページをご覧ください

6,273,907

村上高等学校同窓会



物故連絡・住所変更・氏名変更の場合は、 振込用紙通信欄かメールにてご連絡くだ さい。

なお、物故連絡は基本的にご家族の方が お願いします。

メールアドレス: murakou-dousoukai@outlook.jp



田

◀携帯・スマホからも 連絡できます!

全日制 8 8 8 8 8 8 8 8 7 6 6 6 5 5 5 5 4 4 4 3 3 2 2 1

高高佐斎小大 橋野藤 施 海喜 佐川竹佐藤崎口藤

文範ハ 正 六誠雄之ル誠憲浩誠男一 芳 謙 仝 夫 輔

加藤昭太郎 富樫哲太郎 横本中菅近川伊山間田澤 内藤 重有幸清雄信一美 和

長谷部幸子 井涌山佐小小瀬村菅佐大 之井田藤池田賀井原竹場 川朝 伸玲勝吉康ミ 敏国 子悟六子栄男平ヨ明章栄 村 菅 佐 佐 特 展 居 藤 大 康 所 権 選 と 明 章 保 関 軍 栄 男 司 子 田 章 栄 男 司 子 二 渡月佐小古長中佐上山本鶴小山根中中立 遺居藤林川谷村藤田口間橋林田岸山村川 川 佐 隆洋忠邦 久 基克平康ミ嘉文恒 幸 司子二彦宏子隆清司夫治夫チ彦男雄宏子 東渡小本福工増 辺池間田藤田 テーム雪品 リ

後

記

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 (事務局にお知らせいただいた方です。)



物

故

会

員

い方々との一時を。 の一つですが今後も宜しくお願いします。ま取り入れるよう心掛けました。企業広告もそ読みいただけるよう伝統を守りつつ新しさもて、紙面については少しでも同窓の皆様にお 健をもとに更なる活躍を願っております。さクラス減に伴い寂しさを感じますが、質実剛 とはじまる。これは、柔道部歌で斎藤巽先生 の集える学舎(ところ)三面の流れは清し~、宇治山人という人が作った歌があり、"若鮎 開催時間等が以前と大幅に変わりますが大勢 宿やこの歌が思い出されます。現在の村高は、 が作られた。この季節になると暑い中での た、同窓会総会・懇親会は、諸般の事情により、 編集委員

定昼8 定昼8 定昼7 定昼6 525139313029272624212121202020

全日制分校 美栄子

定 岩 岩 20 7 定定定定定定定定定定 朝朝朝朝山山夜夜夜 20141111261171413 定定定 関関関 1711 9 定関5 定関2 定夜9 定 荒 1917 定荒5 羽斎外賀藤山 赤塚 南遠小小三本渋波山野田好間谷 增昭誠正六三憲静俊昭喜資 男作士吾郎男治夫一吾恵鎮